

キャラクター名
ウィン・マリアハート

プレイヤー名

種族	人間	種族特徴	剣の加護/運命変転		
生まれ	軽戦士	性別	女	年齢	16
冒険者Lv	5	経歴	命を助けられたことがある。B6-3		
経験点	0		家族に魔法使いがいる(いた)。C4-1 子供の頃に家出したことがある。A1-3		

技	10	器用度	6	成長	2	他修正	能力値	18	ボーナス	3
		敏捷度	9	3		22 + 2	4			
	7	筋力	4	2		13	2			
		生命力	7	1		15 + 3	3			
心	4	知力	9	3		16 + 2	3			
		精神力	7	1		12	2			

技能	Lv.	技能	Lv.
フェンサー	5		
フェアリーティマー	4		
スカウト	1		
セージ	4		
エンハンサー	2		

戦闘特技				
防具習熟A/盾	1-282p			p
回避行動	1-279p			p
マルチアクション	1-292p			p
				p
				p
				p
				p
				p
				p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
ドレイク語		○
汎用蛮族語	○	○
魔法文明語		○
妖精語	○	

練技/呪歌/騎芸/賦術	
ガゼルフット	
マッスルベアー	

名誉アイテム	点数
冒険者ランク《グレートソード》	200
華美なる宝石飾り	0
専用盾	50
専用鎧	50
専用装飾品(HP)	50
専用装飾品(MP)	50
名誉点所持	50 /合計 450

技能	基本	基本	基本追加
	レベル	命中力	回避力 ダメージ
ファイター	0		
グラブラー	0		
フェンサー	5	8	9 7
シューター	0		

鎧と盾	必要	ランク	筋力	回避力	防護点
鎧	ソフトレザー+1		7		4
盾	ターゲットシールド		7	1	1
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					1 1
回避技能	フェンサー	合計値	11	7	

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
カッツバルゲル+1	1H	7	1	2d+ 9	9	8	7										
魔法の武器+1																	
ブレードスカート				2d+ 8	9	7	10										
				2d+													

一般装備品	(消耗チェック)
冒険者セット	○□□○□□
妖精使いの宝石x6	○□□○□□
保存食	○□□○□□
アウエイクポーション	○□□○□□
魔晶石5点x3	○□□○□□
スカウト用ツール	○□□○□□

	所持金	90	預金・借金	G
--	-----	----	-------	---

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
3 m	26 m	78 m	2d+ 11	7	35

魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP
2d+ 9	2d+ 5	2d+ 8	2d+ 8	26

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
妖精魔法	4	7			

装備品	説明
頭 スマルティエの髪飾り(スタールビー)	効果なし/スマルティエ
耳 スマルティエの耳環(ブラッドストーン)	効果なし/スマルティエ
顔 アイソアーマスク	防護点+1、遠隔攻撃を誘引する
首 スマルティエの銀鈴	「装備部位:その他」を得る/スマルティエ
背中 華美なる宝石飾り	宝石6個入れ
右手 スマルティエの叢智の腕輪	知力+2/スマルティエ
腰 ブレードスカート	達成値4以上上回って回避成功時、威力表10で攻撃
足 スマルティエのソックス(ハイカーサファイア)	効果なし/スマルティエ/計5-2=3 生命力+3
その他 信念のリング	精神抵抗力判定+1

装備品	説明
左手 疾風の腕輪	敏捷度+2/破壊時器用度+14
叢智のとんがり帽子	魔物知識判定+2

その他メモ	自動失敗チェック
冒険に出た理由: 最高の冒険者になるため	○□□□⑤
のどかな農村にある普通な家庭に生まれた。両親と兄の4人家族で健やかに明るく育った。	○□□□⑩
6歳上の兄は魔法の才能があり、成人になる年に都市部の魔術師ギルドに入るため村を出ていった。	○□□□⑮
精神的にまだ幼かったことや兄がいなくなる寂しさ、ほんの少しの劣等感に苛まれて、親に一方的に反発して家を出た。	○□□□⑳
家出の最中、入ってはいけないと村で決められていた森に入ってしまった、遭難して死にかけた。生死を分かるとき、妖精に助けられ生還した。	○□□□㉑
家出から戻った後もしばらく落ち込んでいたが、少しずつ以前の明るさを取り戻していった。	○□□□㉒
兄の真似をして魔法の練習をしてみたが才能はなく、運動は得意で身軽だったので剣術の真似事をしてみたりした。勉強はあまり好きではなかったが、魔法の座学は続けた。	○□□□㉓
成人近くなったころ、以前助けられた感謝を伝えたく妖精が住む森を訪れた。その際に妖精魔法の才能が開花した。地道な魔法の座学が良い	○□□□㉔
	○□□□㉕